

# 琉球大学学術リポジトリ

## 沖縄関係23（米国民政・軍用資産引継調査・交渉Ⅳ）

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43741">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43741</a>

大臣基地研究台(下三)

局長 坂井

基地研究会報告書

4月21日  
局長宛

(秘)

8月21日朝基地研究会における  
議案の報告書 (於東京4月21日)

大臣 御座りませう。会議を通じて  
共同声明案の作成作業が順に進んで

東南の保全の観望の材料と見えて  
います。近頃の時期、核、水素等の

問題は何か相互の関連がある。  
一つの package と見えて居る次第で

と見えて居る。と見えて居る保証が得られ  
ない。様子を見てみるべきです。

自主防衛、防政問題との他方への  
問題があるが、当面は核問題を扱って

片手一保

問題をしほつて<sup>交渉</sup>をやって居る。  
朝鮮半島は10ヶの要員に固まっています。

打ち合ひは31. 台湾の問題は中共の  
対台の<sup>交渉</sup>との関連がある。

一つは中韓の<sup>交渉</sup>。もう一つは核軍  
縮小中の<sup>交渉</sup>がある。米側の<sup>交渉</sup>は

核<sup>交渉</sup>と<sup>交渉</sup>。2つとも<sup>交渉</sup>が、<sup>交渉</sup>の  
早期<sup>交渉</sup>という様子を<sup>交渉</sup>。共同

声明の両者の合意と<sup>交渉</sup>する<sup>交渉</sup>表明  
が<sup>交渉</sup>。それ以上の事は<sup>交渉</sup>に

大統領の<sup>交渉</sup>の<sup>交渉</sup>の中<sup>交渉</sup>の一方の  
<sup>交渉</sup>と<sup>交渉</sup>の様子を<sup>交渉</sup>する<sup>交渉</sup>

でも知れ<sup>交渉</sup>。

久位 - ヲイテハ米の早期終結  
が目標である。おがの協力も米給  
補給の他の基地提供 戦後復興  
への協力等作戦面以外にその  
分野がある。米がB52の使用に2枚の  
のは戦術的かつ漸進的である。  
空前協定の他の合同協定採擷の  
話も報じられる。軍技協定と  
いってよく、hot lineの3行  
政府重要首脳間の政治判断をゆが  
める形は望まぬ方向である  
三好 - 米の絶対的処置である。  
是れを予防するに目的とする  
日本軍関係の具体的な利点をついて。  
早急に解決する。好箇の場合と在り得  
る。

B52の将来の処置は日米の防衛  
政策の基となる。南米の空軍問題  
あり。妥協を許すため本年内に  
(久位同委員) ヲイテハ...  
西島  
早期解決の希望を表明するとの  
言えは、極めて重要な材料である。  
米は「ヨイテハ」の政治的敗北となる  
如き事態を避けたい。「敗けるが勝  
つ」の意思、印の言え方をとるべき  
あり。日米は post Vietnam のため  
ハ、イを合意し、後継の如き措置を踏み  
印。米の政治的敗北となるが、  
の方向を  
協定を急ぐべきである。

岸田 - 長期の戦争に勝つと  
思っているから勝つのがいい。敗北  
という事をどうにかおさへた。  
3ヶ月か72年かという片断  
居ないとかいって、沖縄の基地を云々  
する前に、赤十字(自衛隊)の内  
基いかなくたつていふところ。  
小室 - 文相の訪りの意義は大きい。  
1) 赤十字は、地方自治団体の  
強い立場を認められた。  
2) 沖縄の論は地方自治が中心  
市民的な22ヶ国に同様の得た。  
3) 中国の微笑外交を築つて。  
1) 中共は「世の政策」に加担  
するべきではない。

若泉 - 沖縄の地方自治を推進と  
いう赤十字の面をどうにかする。  
2ヶ月か72年かという片断  
赤十字は、新しい一歩を踏み出す  
赤十字の面をどうにか強調すべき  
あり。核抜きという2ヶ月。2ヶ月  
あり。中東への接近の一方、  
赤十字は積極面をどうにかすべき  
である。(2ヶ月同調)  
赤十字 - 赤十字は沖縄を  
ドクタートークをするための、  
期して、赤十字が、赤十字の  
赤十字の如き措置をどうにかする。  
赤十字 - 赤十字が、赤十字の

提請由問題了。子。